

この度はご結婚おめでとうございます。
ご両親においては新郎新婦と同様に「主催者側」として、ゲストをおもてなしされると思います。
結婚式の日を迎えた感謝をこめて、ゲストには丁寧な対応をすることを心がけて
両家での服装の格式を揃えることがマナーとされています。
最近は昔ほど正装を求められていませんが、最低限の知識と両家での相談はしておくといいかと思います。
父親がモーニングコート(洋装)で母親が黒留袖(和装)の組み合わせが一般的です。
衣裳はできるだけ、夫婦で統一するほうが好ましいとされています。
せつかくの機会です。普段着用されない恰好なので、少しおしゃれを楽しむのもいいかと思います。
いつも恰好よく、素敵なお衣裳で結婚式を迎える主催者の一人として、過ごしてください。



想いで惟い（おもいでおもい）

結婚式のご両親

～記念日の想いでをデザインする着物レンタル～

KANEMATA ANNIVERSARY STYLEBOOK

カネマタ衣裳店 スタッフ一同



ネットレンタル
モーニング



ネットレンタル
留袖

この度は誠におめでとうございます。
この冊子は、記念日の意味合いや所作を知つていただくこと、
記念日をより一層、有意義に過ごしていただるために生まれました。
衣裳を貸すだけではなく、
皆様の記念日の想いでをデザインできたのなら幸いです。
良き一日となることを願っております。

◎柄の説明

黒留袖の柄には古来より幸せを願う心や、祈りが込められた模様が描かれてきました。

不老長寿を願つて

鶴は千年、亀は万年という有名な言葉があるように鶴と亀は長寿の意味があります。ほかにも鳳凰、龍、松竹梅、牡丹、宝尽くしなどは縁起がよく不老長寿を願う柄付けです。

子孫繁栄を祈つて

葡萄、瓜、唐子など。葡萄は一房にたくさんの実がなるところから子孫繁栄といったおめでたい柄といわれています。

円満な夫婦関係

鴛鴦、相生の松や、夫婦円満のシンボル貝桶など。貝桶とは貝合わせ遊びの貝を入れる器です。二枚貝はほかの貝の柄とは決して合はず、ぴたりと合うのはもともと対だった貝ひとつしかないことから夫婦円満の象徴とされています。

豊作

雀や雪の結晶をかたどった雪輪は豊作を象徴しています。

栄華榮達

七宝・宝船・扇などは栄華榮達を意味し、喜びに満ち溢れたお祝いの席にふさわしい柄です。



◎紋について

家紋は黒留袖、色留袖、喪服、色無地などの紋付きの着物に付いています。家紋の図柄のモチーフはおよそ三百から四百種類ほどあり、草花の植物、建物や景色、いきもの、自然、人物、道具、そして幾何学模様など、さまざまなものがデザインされています。家紋に使われる紋様は古来・中国大陸から輸入されたもので、やがて貴族の間で定着していきました。戦国期にはいると戦闘の際に敵味方を識別する印として武家の間にも広まりました。私たちが現在使っている家紋の多くは武家紋がその起源といわれています。

レンタル衣裳などで家紋を指定したい場合、貼り紋で変更することなどもできます。



CEREMONY STYLE & MANNERS



長めの白黒の縞柄、または黒の無地を着用します。くるぶし丈のような短いものや白の靴下は、避けてください。



光沢感の少ない黒の本革のストレートチップの内羽根式が最もふさわしいです。ストレートチップとは、つま先の切り替えが横一文字になっているデザインの靴です。内羽根式とは紐を通す革の部分が内側に隠れているデザインのことです。



手袋は着用せずに、右手で持ちましょう。手袋であることを周りに知らせるため、指先が見えるように持ってください。それには「今日はおめでたい日なので武器を持ちません。戦いませんよ」という意味があるためです。左利きの人も右手を持ってください。



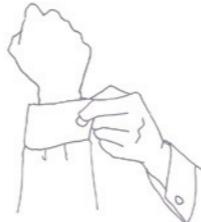
ジャケットのポケットに物を入れると、ポケットが膨らみ、シルエットに影響します。なるべくポケットには物を入れないようにすることをおすすめします。ハンカチ、ポケットティッシュなどは、胸ポケットに忍ばせておくと良いでしょう。



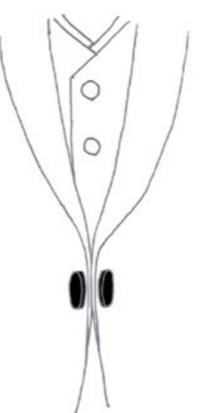
パンツの裾丈は、靴の甲にやや触れるらいがちょうどよいでしょう。短すぎて靴下が見える、または長すぎてもたついてしまう、といった状態は見栄えが良くないので気をつけましょう。



袖の内側どうしを重ね合わせ、手の甲側から飾りが見える様に通して留めて下さい。お祝いの場合は、真珠や白蝶貝など、白い石のアクセサリーを身に着けます。



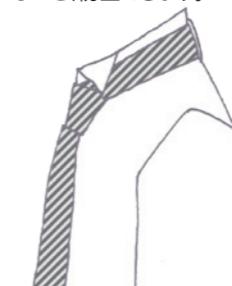
ジャケットのフロントボタンは右身頃の表と裏に一つずつついています。お祝い事ならではの拌み合わせとなっております。裏側のボタンを正面から見た時、左右対称になるように留めましょう。着席時はボタンを外し、楽にして頂いて大丈夫です。ジャケットの型崩れ防止にもなります。後ろの裾は左右に垂らし、シワにならないようにすると再び立ち上がった際に見栄えが良いです。



白無地の立ち襟(ウイングカラー)またはカッターシャツ(レギュラーカラー)を着用してください。シャツはどちらでも構いませんが、ご両家で統一されたほうが見栄えが良いでしょう。黒のベストを着用する場合は胸元に白の襟がつきます。グレーのベストには白襟はありません。



立ち襟(ウイングカラー)を着用の際は、ネクタイは襟の後ろ側にあるループに通してください。ネクタイがずり上がってくるのを、防止できます。



黒留袖は黒地に染め抜きの五つ紋をついた絵羽根模様で現代では既婚女性の第一礼装とされています。色留袖は黒地以外の裾模様で未婚の方でも着用できる衣裳です。五つ紋以外にも三つ紋や一つ紋のものもあり、紋が多いほど格が高くなっています。黒留袖と五つ紋の色留袖が同格の位置につきます。



留袖「新郎新婦の母親」母親は花嫁に次ぐ主役です。上品かつ適度に華やか柄などがおすすめです。

「年配の方」裾模様の面積が小さく、模様の位置が低いほうがよいでしょう。裾の方にすっきりした模様が入っている落ちついだデザインのがおすすめです。

「若い方」裾模様が大きめでひざ上程度にまで美しい色や柄がくる華やかなデザインをおすすめします。



留袖は和服の1つで既婚女性が着用する最も格の高い礼装です。着物の格においては第一礼装になります。西洋のイブニングドレスに相当するものです。ただしイブニングドレスのように時間の制約はなく、昼夜問わず着用できます。染め抜き五つ紋、江戸襷模様、総比翼がついたものが一般的で用途は祝賀用となります。身内の結婚式や仲人の席など、立場の重い列席者となる場合に着用します。現代では、袖が短く、着物の裾部分だけに模様が入った着物のことを留袖と呼びます。もっとも格式高い正礼装となるので、新郎新婦の両親以外にも祖母、姉妹、伯母(叔母)といった親族や仲人の立場で着ることができます。



地色が黒以外のものです。紋を付けずに訪問着の様に着ることもありますが紋が付いていれば黒留袖と同じ格になり母親が着ても大丈夫です。

